

第4回 高校生スピーチコンテスト

Speech Contest

日時 : 2015年3月21日(土) 14時から
場所 : 兵庫県私学会館 3F 302/303号室

【開会】



佐藤良子会長が「ITCの主な目的はスピーチの向上です。相手に理解してもらうように話すこと、また相手のことを理解しようと一生懸命聞くこと、これによって良いコミュニケーションを図ることができます。」と本日のスピーチコンテストに対する思いを述べた。

【プログラムリーダー】



優しい口調でスピーチコンテストをスムーズに進行した津田由貴プログラムリーダー。

【コンテスト】

日本語の部5名、英語の部7名の12名のスピーカーたちによってコンテストが行われた。

スピーカーたちの経験や考え方が、それぞれ個性豊かにスピーチされていた。本当に高校生のスピーチのレベルの高さに驚かされたコンテストであった。



【表彰】

【日本語の部】

1位 福本 華さん
論題：水
題目：水が彩る

2位 本田 良丞くん
論題：風
題目：居心地の良い場所

【英語の部】

1位 力武 真由さん
論題：Japan
題目：How to stop Child Abuse

2位 高村 ノーブルくん
論題：Japan
題目：My Experiences in Japan



【講 評】



Mr.Paul Kelly



高梨柳太郎氏



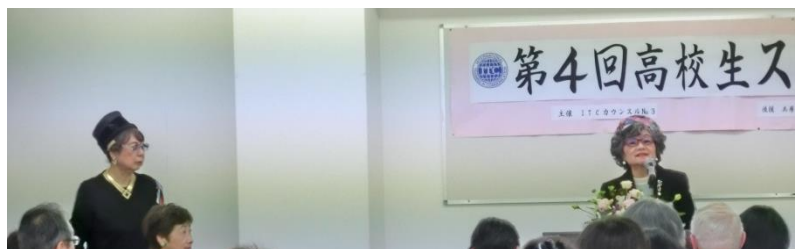
西門義晴氏

3名の方々に講評をいただいた。

皆さん一様に「レベルの高さに驚かされた。差がなかった。」と口をそろえておっしゃっていた。

また「彼らの感受性の豊かさに感銘を受けた。自分の考えを伝えるだけでなく、しっかりと社会現象を考えている。」「コミュニケーションの意味を検証している。」と高い評価を得たスピーカーたちであった。

【PREM】



審査・集計の時間を利用して行われた PREM 活動は、高山敦子・横山末子会員による「ITC の歴史」についてインタビュー形式で行われた。

特に ITC の生みの親である、アーネスティン・ホワイト女子になりきって質問に答えてられたことにより、スピーカーの皆様も ITC のことを伝える効果的で楽しい時間であった。

【リージョン会長】



中島由美子リージョン会長により、スピーカーたちに対して、もっとボディランゲージや目配り等を考えると、なお一層素晴らしいスピーチになると助言があった。

【閉 会】



「今回の PREM のために、今まで熱い討議を何度も重ね、スピーチコンテストを盛り上げるために努力してきました。その成果を見て私たちは心から達成感を味わうことができました。ITC ならではの経験でした。」と長尾順子 PREM 委員長が感想を述べた。

最後はアーネスティン・ホワイト女子より贈られたというミモザの花束を持って閉会された。

回が進むにつれてますますレベルアップしたスピーチコンテストであった。関係者の方々、本当にお疲れ様でした。